



俳句

稲井爽秋 選

生涯を農に生きたり石路の花
 白魚の黒瞳清しく奔ける
 手をつなぎ幼き姉妹野に遊ぶ
 祖母さまの拍手に拍手万愚節
 満開の桜仰ぎて傘寿かな
 豆飯の好きも嫌ひも老二人
 子の先を犬の走りて麦青む
 余生てふ気儘なる日々桃に花

高橋和子
 大森妙子
 菅博武
 川原利代
 青野義明
 三好靖子
 岡田久夫
 稲生清子

川柳

伊藤凡々 選

大空にくよくよやすなと書いてある
 強がりやを悔い点滴の音を聴く
 旨いいうそお陰でその場丸くゆき
 かくれんぼ出来ない丈で麦穂出る
 頑なに生きて尻尾は振らぬ主義
 春が来て錆びた五体が動き出す
 煮凝りが美味しい今朝の戻り寒
 新緑の中で前頭葉休め

浅木邦子
 宇高瑞子
 尾崎康博
 徳永洋子
 真鍋藤子
 杉しず子
 日野恵子
 金子辛子

短歌

田坂幸 選

裏門の門ゆする音のして春一番は夜通し吹きぬ
 教習所の灯火うるみて遠く見ゆ黄砂にくもる
 一日の暮れに
 嫁ぐ折贈られにけるこのミシン還暦越ゆる吾
 と共にあり
 加茂川の干潟に汐の満ち上るさざめきに亡き
 母の声聞く
 山々は木樹の緑の色増して桜三里の花散り残る
 今亡き祖母の織りたる反物に在りし日の優しき笑顔浮かび来
 ジェット機の行く空晴れて妻を呼ぶ雉の鳴く
 声高くひびけり
 紫のリラの花ゆれほのかなる香り漂ふ庭を巡りて
 松本都子
 森田薫
 伊賀和子
 竹島忠臣
 矢野シヅエ
 村上睦代
 菅博武
 日和佐弥生

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

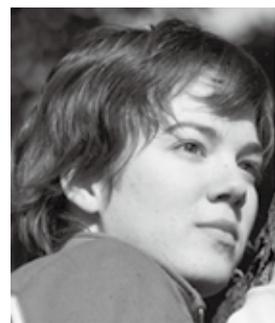
応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No. 38 日本にやってきたエイリアン



▲外国語指導助手

●エミリー・ワルシュさん

私が教える中学生は、英語の教科書からアメリカ映画の『E.T.』を知りました。私たちの世代の北アメリカの人々は、エイリアンという言葉から、すぐE.T.をイメージします。来日して市役所で行った外国人登録が印象に残っています。なぜなら、英語では、「外国人」のことを「エイリアン」というからです。それからは、エイリアンを見るには、鏡をのぞけばいいだけでした！

最初は、自分がまるで他の惑星からやってきたような気がしました。たまにスーパーなどで立ち止まって私をじっと見ている人がいたし、言いたいことを伝えるために変わったジェスチャーと簡単な日本語が必要でした。しかし、今ではこれが、私と日本人との絆を強くする機会であったように思います。

一番印象に残っているのが、周りの人の親切さと思いやりです。例えば、カナダの友人が病気になったとき、私の生徒たちが折り紙で千羽鶴を折ってくれたこと。そして、車で事故にあったとき、友だちが一日休みをとって交番へ行き、説明してくれたこと。日本で嫌な目にあったこともあるけれど、日本で住む素晴らしさは決して忘れません。

そして、私が生徒たちにどんな印象を残すかが気になります。外国人と出会って、海外へ行く勇気を持ってくれたらとても嬉しいです。たくさんの方が海外に住むことで、自分が「外の人」だとあまり感じなくなるような世界になることも祈っています。

授業で『E.T.』の最後のワンシーンを見ている生徒の顔を見て、どれほど日本を去るのが寂しいかしみじみ感じました。地球を去る前に、E.T.が友だちに「ずっとここにいるよ」と言います。人はこれほど温かく迎えられた所から、完全に去ってしまうことはできないと思います。ですから、私のある部分はずっと日本に残ります。

<訳：国際交流員ケイレブ>